

全国高校サッカー 尚志 8強ならず

第93回全国高校サッカー選手権大会4日目は3日、各地で3回戦8試合を行った。3年ぶり6度目の出場の本県代表の尚志は千葉市のフクダ電子アリーナで島根県代表の立正大浜南（3年連続14度目）と対戦し、0-2で敗れた。尚志は4強入りした第90回大会以来のベスト8進出はならなかった。その他の試合では、静岡学園や星稜（石川）、履正社（大阪）、流通経大柏（千葉）、前橋育英（群馬）などが準々決勝に進んだ。静岡学園は全国高校総体覇者の東福岡に3-0で快勝した。履正社は中津東（大分）に5-1と大勝し、2大会連続で8強入り。前回準優勝の星稜は米子北（鳥取）に競り勝った。日大藤沢は開志学園（新潟）に勝ち、流通経大柏は水橋（富山）を下した。総体4強の前橋育英、前回ベスト4の京都橘はPK勝ちした。準々決勝は5日に実施される。

■立正大浜南に0-2

▽3回戦

立正大浜南（島根） 2（前半1-0 後半1-0）0 尚志

▽得点者【浜】 平田（前32分） 高田（後12分）

【評】尚志は序盤、守備陣の背後を突くパスで得点を狙う浜南に次第に主導権を握られ、前半32分に先制点を許した。1点を追い掛ける尚志は後半開始からFW林とDF佐藤誉を投入し、前掛かりになって逆転を目指したが、組織的な守備を展開する浜南から得点を挙げることはできなかった。後半12分には相手MFに追加点を決められ2点差となった。尚志は終盤、セットプレーからゴールを狙ったが、阻まれた。

（2015/01/04 09:04 | カテゴリー：福島のスポート）



【尚志-立正大浜南】後半20分、尚志・林がシュートを放つ